

2022年11月1日

NHK 経営委員会 委員長 森下俊三 様

NHK 経営委員会 経営委員 各位

前川喜平さんを次期 NHK 会長に選任することを求める会

NHK 新会長には政権から自立した公共放送のリーダーにふさわしい人物を！

市民とともに歩み自立した NHK 会長を求める会

共同代表 小林 緑（元 NHK 経営委員、国立音楽大学名誉教授）

河野慎二（日本ジャーナリスト会議運営委員）

丹原美穂（NHK とメディアの今を考える会共同代表）

NHK の前田晃伸会長の任期は、来年1月24日の満了まで3か月弱となりました。前田会長（みずほ銀行出身）の後任を選ぶにあたって、私たちは、政権から自立した公共放送のリーダーにふさわしい新会長候補として、NHK 経営委員会に対し、元文部科学省事務次官の前川喜平さんを推薦します。

私たちは、公共放送 NHK が日本の民主主義と文化の向上・発展にとって果たすべき役割は極めて大きいと考え、次期 NHK 会長には、ジャーナリズムと文化について高い見識を有し、言論・報道機関として、NHK の自主・自立を貫く人物が選任されるべきだと考えます。

ところが、安倍晋三政権以降の2008年から現在に至る5期（15年）の長きにわたって、安倍政権を支持する財界出身者が NHK 会長に任命されてきました。その間、2014年の糸井勝人会長の「政府が右ということを左とは言えない」という発言に象徴されるように、NHK ニュースが「政治的に公平であること」（放送法第4条）からかけ離れ、時の政権に都合のよいような報道内容になっています。

国会では、こうした糸井会長の言動の影響を受け、2016年度のNHK 予算承認の際、経営委員会に対して「会長の選考については、今後とも手続きの透明性を一層図りつつ、公共放送の会長としてふさわしい資格・能力を兼ね備えた人物が適切に選考されるよう、選考の手続きのあり方について検討すること」と2015年に続き再度の付帯決議が行なわれています（参院総務委員会2015年3月31日及び2016年3月31日）。

また経営委員会は2013年11月26日、「次期会長の資格要件」として「NHK の公共放送としての使命を十分に理解している人」など6項目を求めていますが、それが全く機能していないと言わざるを得ません。

そこで、私たちの会は、森友問題の国会審議で堂々と真実の証言を行なったことはもちろん、日本国憲法・放送法の精神を十分に体得した人物として、前川喜平さんをぜひとも新NHK 会長にと推薦する次第です。

私は前川喜平さんを次期 NHK 会長に選任することに賛同します。

（同旨の前川喜平さん推薦ネット署名をすでに行なった方は、この署名にはご遠慮ください。）

氏 名	住 所

【署名締め切り】署名用紙は2022年11月26日（土）必着でお願いします。

【署名送り先】〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル3F 文化村

NHK とメディアを考える会（兵庫）気付「市民とともに歩み自立した NHK 会長を求める会」係

【連絡先】Eメール：mago-720@kcc.zaq.ne.jp 電話：090-5054-7171（西川）

【事務局長】Eメール：kkotaki@h4.dion.ne.jp 電話：090-8056-4161（小滝一志）

【取り扱い団体】放送を語る会・大阪